

目 次

監査報告書	1
独立した監査人の監査報告書	2
(添付)財務諸表	4
貸借対照表	5
損益計算書	6
資本変動表	6
キャッシュフロー計算書	8
注釈	9
外部監査実施内容	10

クラウンホールディングス貸付株式会社

財務諸表についての
監査報告書

第08期

2018年01月01日から
2018年12月31日まで

第07期

2017年01月01日から
2017年12月31日まで

ハンリム会計法人

独立した監査人の監査報告書

クラウンホールディングス貸付株式会社
株主及び取締役会御中

意見表明の拒絶

我々はクラウンホールディングス貸付株式会社（以下「会社」）の財務諸表についての監査契約を締結しました。該当する財務諸表は2018年12月31日現在の貸借対照表、同日に終了する報告期間の損益計算書、資本変動表、キャッシュフロー計算書、そして有意的な会計政策の要約を含む財務諸表の注釈で構成されています。

我々は別添の会社の財務諸表に対する意見を表明しません。我々はこの監査報告書の意見表明拒絶の根拠の章で記述した事項の有意性により、財務諸表に対する監査意見の根拠を提供する充分且つ適切な監査証拠を入手することができませんでした。

意見表明拒絶の根拠

会社の財務諸表は会社が継続的企業として存続するという仮定を前提に作成されたものであり、会社の資産と負債が正常な事業活動過程を通じて回収・償還され得るとする仮定の下に会計処理しました。しかし、2018年12月31日に終了する会計年度の会社の営業損失は11,275百万ウォンであり、当期純損失は11,791百万ウォンでした。そして、同日現在における負債総計が資本総計を6,865百万ウォン超過しています。このような状況は会社の継続的企業としての存続能力に対する有意的な疑問を生じさせます。このような会計の継続企業の前提に有意的な疑問を提起し得る状況であるにも関わらず、会社の経営陣は会計の継続企業の前提に対する評価を行わず、これにより、我々は会計の継続企業の前提を使用することが適切であるかどうかについて、十分且つ適切な監査証拠を入手することができませんでした。

財務諸表に対する経営陣と支配機構の責任

経営陣は一般企業会計基準に基づいてこの財務諸表を作成し、公正に表示する責任があり、不正や誤謬による重要な歪曲表示がない財務諸表を作成するために必要であると判断して決定した内部統制に対しても責任があります。

経営陣は財務諸表を作成する際、会社の継続企業としての存続能力を評価し、該当する場合には継続企業に関する事項を公示する責任があります。そして、経営陣が企業を清算したり、営業を中断したりする意図がない限り、会計の継続企業の前提を使用することに対しても責任があります。

支配機構は会社の財務報告手順の監査に対する責任があります。

財務諸表の監査に対する監査人の責任

我々の責任は大韓民国の会計監査基準に基づいて会社の財務諸表を監査し、監査報告書を発行することにあります。しかし、我々はこの監査報告書の意見表明拒絶の章で記述した事項の有意性のために、該当する財務諸表に対する監査意見の根拠を提供する十分且つ適切な監査証拠を入手できませんでした。

我々は財務諸表の監査に関わる大韓民国の倫理的な要求事項に基づいて会社から独立した立場であり、そのような要求事項に基づくその他の倫理的な責任を履行しました。

ソウル特別市松坡区可樂路16通り3-20ヤンジュビル2階

ハンリム会計法人

代表取締役ユ・ホソン

2019年3月23日

この監査報告書は、監査報告書日現在有効なものです。従って、監査報告書日を過ぎてからこの報告書を閲覧する時点までの間に、添付された会社の財務諸表に重要な影響を与え得る事件や状況が発生することがあり、これによりこの監査報告書が修正されることもあります。

(添付) 財務諸表

クラウンホールディングス貸付株式会社

第08期

2018年01月01日から
2018年12月31日まで

第07期

2017年01月01日から
2017年12月31日まで

「添付された財務諸表は当社が作成したものです。」
クラウンホールディングス貸付株式会社 代表取締役イ・ハンヨン

本店所在地：(道路名住所)
(電話)

貸借対照表

第8(当)期2018年12月31日現在

第7(前)期2017年12月31日現在

クラウンホールディングス貸付株式会社

(単位：ウォン)

科目	第8(当)期		第7(前)期	
資産				
I. 現金及び預り金		257,727,795		169,593,413
現金及び現金性資産	257,727,795		169,593,413	
II. 貸付債権		27,163,500,000		31,695,100,000
貸付金	36,300,000,000		33,650,000,000	
貸倒引当金	(9,136,500,000)		(1,954,900,000)	
III. 投資資産		52,898,688		52,898,688
売却可能証券	52,898,688		52,898,688	
IV. 有形資産		-		-
備品	650,000		650,000	
減価償却累計額	(650,000)		(650,000)	
V. その他資産		877,396,430		358,362,250
未収金	664,288,430		-	
未収収益			215,480,000	
貸倒引当金	-		(70,225,750)	
保証金	213,108,000		213,108,000	
資産総計		28,351,522,913		32,275,954,351
負債				
I. 借入負債		27,094,408,035		23,782,561,103
外貨借入金	26,994,408,035		23,782,561,103	
国内借入金	100,000,000		-	
II. その他負債		8,122,235,059		3,567,769,304
未払金	55,470,662		11,706,226	
預り金	745,662,365		129,667,915	
未払費用	6,696,527,931		3,226,399,372	
当期法人税負債	503,938,670		79,360,360	
退職給与引当金負債	72,500,000		72,500,000	
繰延法人税負債	48,135,431		48,135,431	
負債総計		35,216,643,094		27,350,330,407
資本				
I. 資本金		3,000,000,000		3,000,000,000
普通株資本金	3,000,000,000		3,000,000,000	
II. 利益剰余金(欠損金)		(9,865,120,181)		1,925,623,944
未処分利益剰余金	(9,865,120,181)		1,925,623,944	
資本総計		(6,865,120,181)		4,925,623,944
負債及び資本総計		28,351,522,913		32,275,954,351

損益計算書

第8(当)期2018年1月1日から2018年12月31日まで

第7(前)期2017年1月1日から2017年12月31日まで

クラウンホールディングス貸付株式会社

(単位：ウォン)

科目	第8(当)期		第7(前)期	
I. 営業収益		3,491,896,056		6,890,586,390
貸付債権利息	3,438,970,000		4,816,380,000	
為替差益	52,926,056		48,214,775	
外貨換算利益	-		2,025,991,615	
II. 営業費用		14,766,878,395		5,892,267,886
(1) 利息費用	4,161,919,407		3,743,342,747	
借入金利息	4,161,919,407		3,743,342,747	
(2) その他営業費用	3,129,167,512		4,074,818	
為替差損	159,710		4,074,818	
貸付債権処分損失	1,366,320,000		-	
為替換算損失	1,762,687,802		-	
(3) 販売費及び管理費	7,475,791,476		2,144,850,321	
給与	204,810,000		170,335,268	
退職給与	-		8,883,334	
福利厚生費	27,527,677		19,009,120	
旅費交通費	3,732,757		33,664,297	
接待費	9,093,200		12,898,960	
通信費	2,322,367		2,947,882	
税金及び公課金	14,538,220		8,305,747	
賃借料	27,409,257		25,357,693	
保険料	-		565,160	
車両維持費	68,000		998,848	
運搬費	-		80,000	
教育訓練費	-		100,000	
図書印刷費	125,000		160,150	
事務用品費	1,316,860		2,702,630	
支給手数料	71,016,888		124,070,232	
貸倒償却費	7,111,374,250		1,732,220,000	
協会費	2,457,000		2,551,000	
III. 営業利益(損失)		(11,274,982,339)		998,318,504
IV. 営業外収益		22,578		40,954
金融機関利息収益	21,049		40,954	
雑利益	1,529		-	
V. 営業外費用		1,845,694		797,627
雑損失	1,845,694		797,627	
VI. 法人税費用差引前純利益(損失)		(11,276,805,455)		997,561,831
VII. 法人税費用		513,938,670		203,604,313
VIII. 当期純利益(損失)		(11,790,744,125)		793,957,518

資本変動表

第8(当)期2018年1月1日から2018年12月31日まで

第7(前)期2017年1月1日から2017年12月31日まで

クラウンホールディングス貸付株式会社

(単位：ウォン)

科目	資本金	利益 剰余金	総計
2017. 1. 1 (前期初)	3, 000, 000, 000	1, 131, 666, 426	4, 131, 666, 426
前期純利益	-	793, 957, 518	793, 957, 518
2017. 12. 31(前期末)	3, 000, 000, 000	1, 925, 623, 944	4, 925, 623, 944
2018. 1. 1 (当期中)	3, 000, 000, 000	1, 925, 623, 944	4, 925, 623, 944
当期純損失	-	(11, 790, 744, 125)	(11, 790, 744, 125)
2018. 12. 31 (当期末)	3, 000, 000, 000	(9, 865, 120, 181)	(6, 865, 120, 181)

キャッシュフロー計算書

第8(当)期2018年1月1日から2018年12月31日まで

第7(前)期2017年1月1日から2017年12月31日まで

クラウンホールディングス貸付株式会社

(単位：ウォン)

科目	第8(当)期	第7(前)期
I. 営業活動によるキャッシュフロー	(1,461,024,748)	(5,071,334,969)
(1) 当期純利益(損失)	(11,790,744,125)	793,957,518
(2) 現金流出のない費用などの加算	10,243,287,802	1,741,900,961
貸倒償却費	7,111,374,250	1,732,220,000
貸付債権処分損失	1,369,225,750	-
退職給与	-	8,883,334
外貨換算損失	1,762,687,802	-
雑損失	-	797,627
(3) 現金流出のない収益などの差引	-	(2,025,991,615)
外貨換算利益	-	2,025,991,615
(4) 営業活動による資産負債の変動	86,431,575	(5,581,201,833)
貸付金の増加	(3,949,000,000)	(7,250,000,000)
未収収益の増加	145,254,250	(59,521,000)
繰延法人税資産の減少(増加)	-	76,108,522
未払金の増加(減少)	43,764,436	(7,895,710)
預り金の増加	(48,293,980)	(5,195,714)
未払費用の増加	3,470,128,559	1,537,806,278
当期法人税負債の増加(減少)	424,578,310	79,360,360
繰延法人税負債の増加(減少)	-	48,135,431
II. 投資活動によるキャッシュフロー	-	3,872,373
(1) 投資活動による現金流入額	-	34,202,373
長期性預金の減少	-	34,202,373
(2) 投資活動による現金流出額	-	(30,330,000)
長期性預金の増加	-	30,000,000
保証金の増加	-	330,000
III. 財務活動によるキャッシュフロー	1,549,159,130	5,048,579,322
(1) 財務活動による現金流入額	2,401,637,330	7,297,152,719
海外借入金の借入	2,301,637,330	7,297,152,719
国内借入金の借入	100,000,000	-
(2) 財務活動による現金流出額	(852,478,200)	(2,248,573,397)
海外借入金の償還	852,478,200	2,248,573,397
IV. 現金の増加(I+II+III)	88,134,382	(18,883,274)
V. 期初の現金	169,593,413	188,476,687
VI. 期末の現金	257,727,795	169,593,413

注釈

外部監査の実施内容

「株式会社などの外部監査に関する法律」第18条第3項の規定に基づいて外部監査の実施内容を添付します。

1. 監査対象業務

会社名	クラウンホールディングス貸付株式会社			
監査対象事業年度	2018年01月01日	から	2018年12月31日	まで

2. 監査参加者の区分別人員数及び監査時間

(単位：人、時間)

監査参加者/ 人員数及び時間	品質管理 検討者 (審理室など)		監査業務担当会計士						電算監査・税 務・価値評価 などの専門家		建設契約など 受注産業 専門家		合計		
			担当取締役 (業務遂行取 締役)		登録公認会計 士		公認会計士補								
			当期	前期	当期	前期	当期	前期							当期
投入人員数	-	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	
投入 時間	分・半期 検討	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	監査	-	4	22	122	-	60	-	-	-	-	-	-	22	186
	合計	-	4	22	122	-	60	-	-	-	-	-	-	22	186

3. 主要監査実施内容

区分	内訳							
全般監査計画 (監査着手段階)	遂行時期	2018年6月27日		1	日			
	主要内容	業務日程及び業務分担						
現場監査 主要内容	遂行時期			投入人員		主要監査業務遂行内容		
				常駐	非常駐			
	2018年11月19日	1	日	1	人	-	人	分析的手続き
	2019年2月19日	1	日	1	人	-	人	立証手続き
	-	日	-	人	-	人	-	
在庫資産実査 (立会)	実査 (立会) 時期			-		日		
	実査 (立会) 場所	-						
	実査 (立会) 対象	-						
金融資産実査 (立会)	実査 (立会) 時期			-		日		
	実査 (立会) 場所	-						
	実査 (立会) 対象	-						
外部照会	金融取引照会	×		債権債務照会	×	弁護士照会	-	
	その他照会	-						
支配機構とのコミュニ ケーション	コミュニケーション回 数	2	回					
	遂行時期	2018年11月19日、2019年2月19日						
外部専門家の活用	監査活用内容	-						

	遂行時期	-	-	日
--	------	---	---	---

4. 監査（監査委員会）とのコミュニケーション

区分	日付	参加者	方法	主要論議内容
1	2019年02月19日	監査、代表取締役	面談	監査結果に関する事項
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-



翻訳証明書

この翻訳は、韓国語から日本語に忠実に翻訳した事を証明します。

書類名:

・監査報告書(クラウンホールディングス)

2019年5月22日

翻訳会社: Accent 株式会社

〒100-6208 東京都千代田区丸の内1-10-1 パシフィックセンチュリープレイス8F
Tel: 03-6457-1701 Fax: 03-6457-1707



Sayuri Onitsuka

鬼塚小百合 / Sayuri Onitsuka

